

JR 西日本テクノスってどんな会社？

皆さん、いつも記事を読んでいただき、ありがとうございます。日々、JR 西日本の明石支所で207系や321系の車両メンテナンスをしている Railil 編集部シュンです。

今回は、JR 西日本のグループ会社である JR 西日本テクノスについて、ご紹介したいと思います。Railil では以前、「WEST EXPRESS 銀河オマージュ家具」を取材した記事でもご紹介しました。

「JR 西日本の家具メーカ？」と思われた方もいるかもしれませんが、JR 西日本テクノスの中心業務は、車両メンテナンスです。

JR 西日本の車両メンテナンスは、JR 西日本の本体とグループ会社で業務を分担して行っており、そのグループ会社のひとつが JR 西日本テクノスです。

実はこの JR 西日本テクノス、その業務は JR 西日本グループ内、車両メンテナンスにとどまりません。色々なことにチャレンジしています。

いったいどんなことをしているのか、その本社へ取材に行ってきました！

好評なホーム検知システム



JR 西日本テクノス本社が入るビル。デカイ！

さあ、やってきました！JR 西日本テクノス本社。私も来るのは初めてです。今回は、同社イノベーション本部の宮本慎司さん、阿部祐也さんに話を聞きました。



左から宮本慎司さん、阿部祐也さん。

実は阿部さんと私は、過去に明石支所で一緒に車両メンテナンスをしていました。現在はJR西日本から出向という形でJR西日本テクノス本社イノベーション本部営業にて活躍されています。

そんな気ごころも知れた阿部さんと阿部さんの上司である宮本さんにJR西日本テクノスについて色々と感じになる部分をインタビューさせていただきました。

【シュン】JR西日本テクノスは、JR西日本以外のメンテナンスも請け負っているなど、幅広く業務を展開していると認識しています。現在社員数を教えてください。

【宮本】1013名が在籍しています。

【シュン】JR西日本テクノスで考案した技術には、どんなものがありますか？

【宮本】鉄道関係では、ホームと反対側のドアが開くのを防ぐ「ホーム検知システム」が好評です。

【阿部】センサーでホームを検知した側のみ、ドアを開くことが可能なシステムです。ホームと反対側のドアが開くというのはお客様が転落する恐れのある大変危険な事象です。JR西日本以外の鉄道会社様にも、多くご利用いただいております。



JR西日本テクノスの宮本慎司さん。いろんな技術を丁寧に説明してくれました。

【宮本】RFID タグを活用した工具管理も、好評です。RFID タグは、無線でデータを読み取れるタグです。身近なところでいうと無人コンビニなどで使われています。商品に RFID タグをつけておくと、レジにて一瞬で商品を読み取り、すぐに会計が出来ます。その多くが安価な RFID タグを使用されています。それを利用して、工具管理システムを考案したところ多くの企業様からお問い合わせを頂戴しております。

【阿部】鍵の管理でも使えます。鉄道では、乗務員室に入るのも、運転台を操作するにも鍵が必要ですが、重要なものなので、厳重に管理されていますよね。その管理にも応用して活用できるほか、ご要望次第で色々な管理システムを構築することが可能です。



JR 西日本テクノスの阿部祐也さん。技術について熱く語ってくれました。

JR 西日本以外の中古車両も再生

【シュン】最近では「WEST EXPRESS 銀河オマージュ家具」の制作なども手掛けていますが、JR 西日本テクノスでは現在、どの分野に力を入れていますか？

続きは“鉄道専用”SNS「Railil（レイリル）」をご覧ください。
Railil の詳細とダウンロードは以下のリンクよりご確認ください。

Railil : <http://www.jrw-inv.co.jp/business/railil/>